



平成 30 年 4 月 6 日
附 属 病 院

県内の大学病院で初！ CLSが4月から本格始動！

病院で医療を受ける子どもや家族を支援する専門職

横浜市立大学附属病院では、横浜市医療局の「チャイルド・ライフ・スペシャリスト（CLS:Child Life Specialist）試行派遣事業」により、本年1月からCLSを1名試行的に配置していましたが、このたび4月より正式雇用し、本格的に活動を開始することになりました。なお、CLSの雇用は、神奈川県内の大学病院では初、また、横浜市小児がん連携病院でも初めてのこととなります。

CLSとは、医療機関という家庭とは異なる環境で治療に臨む子どもやその家族を支援する専門職で、子どもや家族が抱える精神的負担を軽減して、主体的に医療を受けられるようにサポートする専門家です。このCLSの資格は、アメリカやカナダの大学や大学院で指定科目を学び、480時間以上のインターンシップをこなして初めて受験資格が得られるもので、日本には現在29の医療機関等で計41名（平成29年12月時点）のCLSが従事しています。

附属病院では、CLSの本格始動により、小児科病棟を中心に医師、看護師や保育士等多職種と連携し、小児患者さんが医療を受けるにあたって、ご本人やその保護者、家族、きょうだい児等に生じるストレスや不安の軽減を図り、その経験を主体的に乗り越えることが出来るようサポートします。

【CLSの主な業務内容・役割】

- ・ 治癒的遊び（セラピューティック・プレイ）の提供
 - ・ 日常的な遊びやアクティビティー、季節行事の提供
 - ・ プリパレーション（心の準備のサポート）
 - ・ 処置・検査中の精神的サポート
 - ・ 診断や病名告知、説明時（手術・検査・処置など）の心理的サポート
 - ・ きょうだい支援
 - ・ 退院準備、復学に向けた支援と連携
 - ・ グリーフケア/Bereavement Support
 - ・ 子どもに優しい医療環境作り
 - ・ 病気を患う親の子どもへの心理社会的支援
- （日本チャイルド・ライフ・スペシャリスト協会HPより抜粋）



4月から本格的に活動を開始するCLSの石塚愛さん